

Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

2017年日本一周グランドクルーズ、出航です

Date : 2017/06/07 緯度 : N 34度 41分 経度 : E 135度 11分 天気 : 雨 気温 : 18.5度 速度 : -ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 神戸



当欄でこれから毎日の船上生活を綴る飛鳥IIの「2017年 日本一周グランドクルーズ」は日本をぐりりと一周し、ロシアのウラジオストクや台湾へも寄港します。急げば船でも10日程度で回れる日本を36日かけてゆったりと巡り、北から南まで、国内外19もの寄港地を訪ねる実に贅沢な船旅です。

そんな期待に満ちた今航は、ポートタワーのそびえる神戸港中突堤で西日本のお客様をお迎えし、きょう16時の定刻より少し早めに出航しました。あいにくの雨模様ではあるものの、お客様はパームコートでのセイルアウェイパーティー（写真左下）や屋外デッキで船出のひとときを楽しんでいました。

リピーターの方も多く、随所で「お久しぶり！」の挨拶が聞こえてきます。「さっそく部屋に荷を解いてきたよ。我が家だ、我が家」と笑う馴染みのお客様も……。友ヶ島水道、紀伊水道と抜けて太平洋に出た飛鳥IIの船内はまだ静かですが、明日には横浜で東日本のお客様をお迎えして本格的にこのクルーズが始まります。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

全員集合、いよいよ日本一周へ

Date : 2017/06/08 **緯度** : N 35度 7分 **経度** : E 139度 45分 **天気** : 通り雨 **気温** : 19.5度

速度 : 16.6ノット

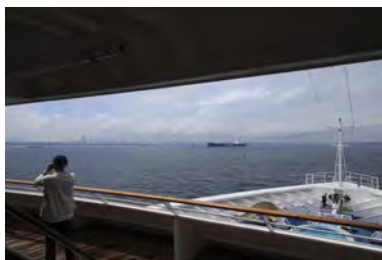
海域 : - **寄港地** : 横浜



昨夕の早めの出航が功を奏してか、朝目覚めてカーテンをあけたら外の海はほぼ風でした。飛鳥IIは朝ごはんの頃に伊豆大島の南に差しかかり、お昼過ぎには浦賀水道航路へと入りました。貨物船やタンカーや小さな漁船、東京湾を横断するフェリーが行き交う中を北上し、午後1時半には横浜港の港外へ。

ベイブリッジが見えてくると同時だったのでしょうか、ちょうどいい具合に青空が雲間を割るようにして広がり始め、屋外デッキには日差しも降り注ぐようになりました。タグボートの力を借りつつ大さん橋の前で180度転回。定刻通りの午後3時、舳先を港外へ向けた「出船」で着岸しました。

横浜から乗船される東日本のお客様をお迎えし、これでひとまず全員集合です。夕方の天気はドラマチックに変わります。向かいの赤レンガ倉庫前から見ていると、夕日に照らされた橙色の雲が風に乗ってぐんぐん移動するのが分かります。飛鳥IIは夜の帳がおりた午後10時50分、汽笛を鳴らし、石巻に向けて出航しました。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

今航最初の終日航海日

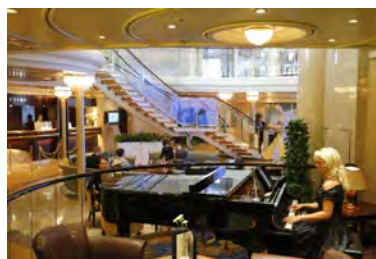
Date : 2017/06/09 緯度 : N 35度 33分 経度 : E 141度 8分 天気 : 晴れ 気温 : 21.5度 速度 : 11.0ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



横浜出航から一夜が明けた今朝、飛鳥IIはいよいよ太平洋を北上し始めました。午後1時頃には千葉県の犬吠埼の沖合を通過して、明日の寄港地・石巻を目指します。午前中の船内は静かな雰囲気でした。横浜乗船のお客様の中には、ちょうど今頃、お部屋で荷物を解いている方も多いのかもしれません。

とはいえ、きょうは今航最初の終日航海日。船内各所でさっそく各種教室やイベントが始まっています。写真左下は「大人のペーパークラフト教室」旧室蘭駅舎の1回目。須山泰旨先生（中央）が北海道内で最古とされる木造駅舎を題材にしたペーパークラフトの作り方を教えてくださいました。和気あいあい、楽しそうですね。

フォーマルナイトのキャプテンズ・ウェルカムパーティー（写真上）では増山正己船長以下のシニアオフィサーが壇上に勢揃い。ディナーも格別に美味しかったです。「真鯛と雲丹 ワサビオリーブ」に始まり、オマールと焼リゾットや国産黒毛和牛フィレ肉のボワレまで。1か月の楽しい旅を予感させる、盛りだくさんの1日でした。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

熱烈歓迎、初寄港の石巻

Date : 2017/06/10 緯度 : N 38度 24分 経度 : E 141度 17分 天気 : 曇り 気温 : 17.0度 速度 : 9.9ノット
海域 : - 寄港地 : 石巻



早朝の石巻沖は一面真っ白の濃霧。飛鳥IIはいわゆる「霧中信号」で1分おきに汽笛を鳴らしながら、ゆっくりと港へ進んで行きました。少しのあいだ見合わせたものの、ほどなく無事に入港できました。石巻は初寄港でもあり、岸壁では地元の方々が太漁旗を振ったり高校生がブラスバンドの演奏をしてくれたりの大歓迎。

あの津波から6年経った今でも石巻の風景の半分には建物がなく、爪痕もまだ各所に見えますが、それでも地域の復興は一步步進んでいます。瓦礫はなくなり、新しいお店が出来始め、今月末には「いのまき元気市場」という新鮮な魚介の販売やフードコートが入った観光施設もオープンします。

高台の日和山公園（写真下2点）から眺めると、海山の自然に恵まれた土地柄がよく分かります。復興に携わる地元の方に伺うと、「遠慮せず、ぜひ皆さんには観光に来て欲しいんです」。飛鳥IIのお客さんも思い思いに街を歩いて、海産物などのお土産を買ったり、地元で人気の海鮮料理店でのランチを楽しんでいたようです。



Cruise：2017年日本一周グランドクルーズ（36）

室蘭の工場夜景を巡る

Date：2017/06/11 緯度：N 41度 56分 経度：E 141度 13分 天気：曇り 気温：15.0度 速度：12.9ノット
海域：- 寄港地：室蘭



今朝の飛鳥IIは下北半島を左舷に見つつ北上を続け、11時には北海道の陸地が間近に見えるところまで来ました。ボートでやってきた水先案内人を午後2時半に乗せたあと、室蘭のシンボルでもある白鳥大橋をくぐり抜け、定刻通りの午後4時に、市民の皆さんの出迎える中で室蘭港に入港しました。

室蘭名物はむかし炭坑夫たちが食べた豚肉の「やきとり」やカレーラーメンだそうです。ほかに最近知名度を上げているのが「工場夜景」。飛鳥IIのお客様の間でもこれは人気のようで、遊覧船で工場夜景を望むツアーに加え、急遽、バスで巡るコースも追加されました。筆者はそのバスツアーにご一緒しました。

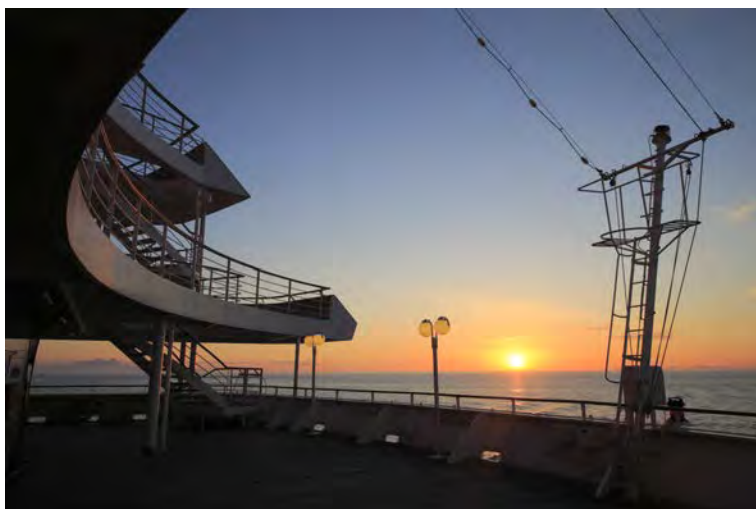
写真上はその代表的な夜景のひとつ。すり鉢状の室蘭港は周囲にいくつもの丘があり、ガイドさんや地元観光協会の方に足許をライトで照らしてもらいながら高台のビュースポットを見学。室蘭は発電用の風車も多い「風の町」ですが、今宵は見事な無風の晴天で、煙突の煙が真上にのぼる絶好の工場夜景日和でした。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

洞爺湖と有珠山半日観光

Date : 2017/06/12 緯度 : N 42度 59分 経度 : E 144度 23分 天気 : 曇り 気温 : 12.5度 速度 : -ノット
海域 : - 寄港地 : 室蘭



昨夜はオーバーナイトの停泊で、飛鳥IIはきょうも室蘭港に接岸しています。きょうは午前中の「洞爺湖と有珠山半日観光」のツアーに出掛けてみました。朝方は曇りがちだったものの、バスが1時間ほどかけて洞爺湖についた頃には急に青空が広がって、湖面は澄んだブルーに輝いていました。

また、洞爺湖にほど近い有珠山ロープウェイでは、森の中に突如として岩山がそびえる活火山・昭和新山を眼下に望みながらの空中散歩。有珠山の山頂こそ霧に包まれていましたが、次第に天候は持ち直し、バスの車窓からは洞爺湖越しに残雪の羊蹄山も見えました。半日で北海道の雄大さを一気に体感できた気分です。

出航は午後5時。岸壁では「室蘭子ども踊り隊」の皆さんによるよさこいソーラン演舞があり、色とりどりの紙テープが風に舞い、そんな中で飛鳥IIはゆっくりと室蘭港を後にしました。ご覧の通り夕日も最高。沈みきる間際に一瞬緑色に輝く「グリーンフラッシュ」も見えましたが、皆さんご覧になれたでしょうか。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

日本野鳥の会レンジャーと道東の原野へ

Date : 2017/06/13 緯度 : N 42度 59分 経度 : E 144度 23分 天気 : 晴れ 気温 : 14.0度 速度 : 15.6ノット
海域 : - 寄港地 : 釧路



きのう一昨日の室蘭に引き続き、今朝は釧路に入港しました。高緯度の北海道だけに夏場の夜明けは早いらしく、今朝も午前3時43分の日の出から窓外は淡く明るい朝の光に包まれていました。風いだ晴天のもと、飛鳥IIはゆっくりと滑るように釧路港へと進み、狭い防波堤の間を抜けて午前8時に接岸しました。

ここ釧路では、筆者は日本野鳥の会と飛鳥IIがコラボレーションした特別企画のツアーに参加しました。同会が管理し通常では一般開放されていない「渡邊野鳥保護区フレシマ」を、レンジャーと一緒に見学します。丘上から広い湿原とその先の太平洋を見渡す保護区はご覧の通り、ほぼ手つかずの大自然（写真上）。

レンジャーの方が「こんなに晴れることは滅多にない」と話すほどの好天を満喫し、タンチョウやエゾシカなどを双眼鏡で遠望しました。しかも昼食は地元素材のベーグルサンドをこの場所で。ピクニックみたいで素敵でしょう？ 帰途に寄った風蓮湖でも、タンチョウとオジロワシを同時に見ることができました（写真右下）。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

船内でゆったり過ごす霧の航海日

Date : 2017/06/14 緯度 : N 44度 25分 経度 : E 148度 24分 天気 : 曇り 気温 : 12.0度 速度 : 12.2ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



釧路を後にした飛鳥IIは今朝から北方四島の歯舞群島、国後島の南側を航行しているはずですが、濃霧のために視界は真っ白。とはいえ波は至って穏やかで、寄港地続きでアクティブに上陸観光を楽しんできたここ数日に比べると、船内にはのんびりひと息つくような、そんな空気が漂っています。

さて、船旅に慣れた方ならご存知の通り、終日航海日は「船そのもの」を存分に楽しめる日です。きょうの船内では午前中からダンス教室（写真左下）や片山智桂子先生によるクレイネckレス教室（同右下）、ゴルフレッスン、ウォークラリー式クイズなど多くの催しが行われ、皆さんそれぞれ楽しんでいましたようです。

晩のドレスコードはインフォーマル。千住真理子さんのヴァイオリンコンサート（同上）がとりわけ素晴らしかったですね。『トルコ行進曲』『荒城の月』『浜辺の歌』『チャルダッシュ』といった曲からアンコールの『ジュピター』まで、時にやさしく、時には険しい表情も見せつつの渾身の演奏。美しい音色に酔いしれた夜でした。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

クジラやシャチが出迎えるオホーツク海

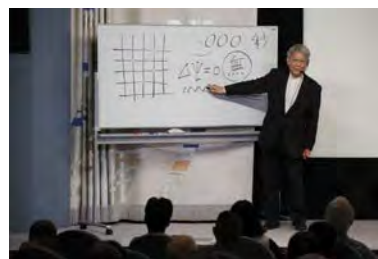
Date : 2017/06/15 緯度 : N 46度 13分 経度 : E 149度 41分 天気 : 晴れ 気温 : 8.0度 速度 : 13.0ノット
海域 : オホーツク海 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIは今朝早くにウルップ島北東の小島を回り込み、オホーツク海へと入りました。ちょうどこのあたりが今回の「日本一周グランドクルーズ」の最北点になるのだと、増山キャプテンが朝の放送で教えてくれました。濃霧の昨日と違い、きょうは晴れ間も広がるまづまづのクルーズ日和です。

午前中にはウルップ島（写真上）、午後からは択捉島が左舷にずっと見えました。残雪の島影を望む屋外デッキは肌寒く、冬用コートや手袋を引っ張り出してちょうどいいくらい。寒いけれども写真左下のシャチや、潮を吹くクジラの姿もたびたび見えました。海洋生物の多い豊かな海を航行していると実感できます。

船内行事では右下、佐治晴夫先生の講演「星のかけらの私たち ―ビッグバンからあなたまで―」が満員御礼の盛況。宇宙138億年の歴史を365日になぞらえると「人間の一生はわずか0.2秒しかない」のだそうです。自然や宇宙の壮大さ、それに対する人間の小ささを思わずにはいられない、終日航海日のきょうでした。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

知床半島とブリッジオープン

Date : 2017/06/16 緯度 : N 44度 1分 経度 : E 144度 17分 天気 : 曇り 気温 : 10.0度 速度 : 10.0ノット
海域 : - 寄港地 : 網走



ロングクルーズの終日航海日に時々行われるのがブリッジオープン、操舵室の見学会です。今回のクルーズは寄港地が多いのであまり機会がないのかなと思っていましたが、そこはサービス精神に富んだ飛鳥IIのこと、世界遺産の知床半島を見渡す絶好のタイミングでスケジューリングされていました。

早朝6時に知床岬を西へ回り込んだ頃にはあたり一面霧の中だったものの、ほどなく晴れ間も覗く好天に。飛鳥IIは景色を満喫すべく午前9時前にウトロ港沖で反転し、今度は右舷に知床半島を望んで走ります。ブリッジではお客様が増山キャプテン（写真上、中央）に質問したり、一緒に記念撮影したりと楽しそう。

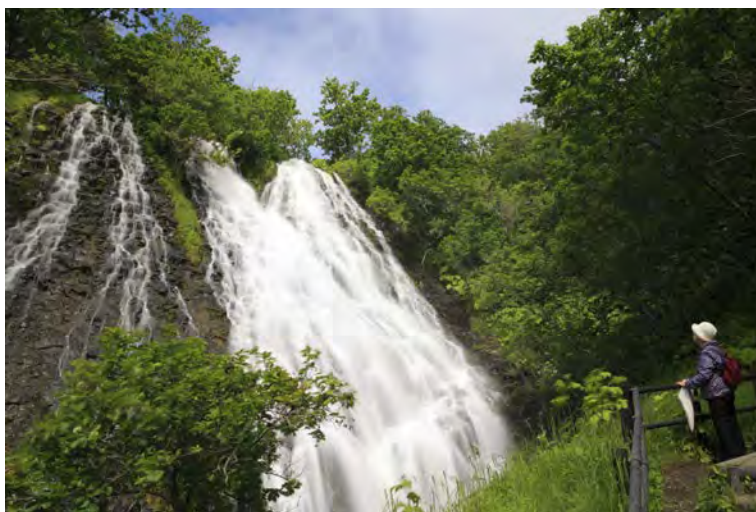
この海域ではイルカをたびたび目にすることができました。手つかずの自然が残る知床は、沖合にも豊かな自然の営みがあるようです。夕方4時には網走港へ。晩のローカルショー「豊郷神楽（とよさとかがら）」は明治期に宮城県からの入植者らが始めた伝統芸能（同右下）。これもまた素敵でしたね。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

知床半島の自然を見に行く

Date : 2017/06/17 緯度 : N 44度 1分 経度 : E 144度 17分 天気 : 晴れ 気温 : 14.5度 速度 : -ノット
海域 : - 寄港地 : 網走



きょう筆者が同行したのは知床1日観光。休憩を挟みつつバスで2時間ほど走って知床国立公園を目指します。「ただいま北海道名物の長い直線道路に入りました。6 kmあります。けれど皆さま、写真は慌てなくても大丈夫。その次の直線は16kmでございます」。バスガイドさんの絶妙トークに車中は笑いが絶えません。

小麦や大麦、ビート、ジャガイモなど、車窓にひたすら畑が続く道をゆくと、やがて左はオホーツク海に。ひんやりとした空気と一面の霧に包まれて知床五湖の高架木道を歩き、お昼は知床ウトロ温泉の高台のホテルで美味しい海鮮ランチ。午後は海辺の谷間に流れる落差80mのオシンコシンの滝を見学しました。

また、小清水原生花園ではエゾキスゲ（写真左下）やクロユリなどの花々を鑑賞。バスガイドさんの「売店でジェラートを味わうならトマト味かアスパラ味がお勧めですよ」という言葉に魅かれてしまい、我が3号車では何とお客様の多くが「その両方をミックスで」注文する状況に。和気あいあいの、実に楽しい小旅行でした。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

ネイチャーガイドと利尻島の森を歩く

Date : 2017/06/18 緯度 : N 45度 15分 経度 : E 141度 15分 天気 : 晴れ 気温 : 13.0度 速度 : 11.8ノット
海域 : - 寄港地 : 利尻



飛鳥IIはオホーツク海から宗谷岬を回り込んで日本海に入り、今朝7時、利尻島の錨泊（おしどまり）港沖に錨を下ろしました。海と空の青に囲まれた島には「利尻富士」の異名をとる利尻山がそびえ、その中腹には横一直線に雲が湧きあがっていました。きょうは今航最初の錨泊。上陸にはテンダーボートを使います。

さて、きょうの筆者は「ネイチャーガイドと歩く利尻島自然散策」にご一緒してみました。美しく裾野を広げる利尻山。その麓には豊かな森や湿原が広がっています。森の中の緩やかな坂道をゆくと、その先には「日本名水100選」のひとつの甘露泉水（写真右下）が。コップに汲んで一口飲むと、ひんやり澄んだ美味しさでした。

島南部では南浜湿原（同左下）を散策。ここは海辺の低地にあるのにミズゴケの発達した「高層湿原」だそうで、国内では珍しく学術的にも貴重な場所だと聞きました。白くて可憐なエゾイソツツジ、ワタスゲ、ツルコケモモなどの花々が木道の脇に点々と咲いていて、どなたも熱心にガイドさんの解説に耳を傾けていました。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

クルーズ特典の旭山動物園見学ツアー

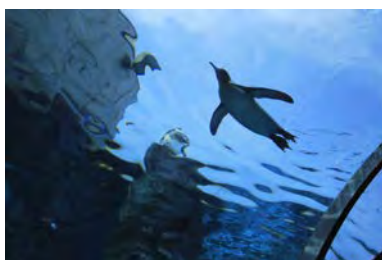
Date : 2017/06/19 緯度 : N 43度 58分 経度 : E 141度 38分 天気 : 曇り 気温 : 18.0度 速度 : 9.6ノット
海域 : - 寄港地 : 留萌



景色に霞のかかる朝7時過ぎ、飛鳥IIは定刻通りの8時に右舷付けで着岸しました。きょうのハイライトはクルーズ特典ツアーの「旭山動物園見学」。筆者も多くのお客様とご一緒し、動物たちの生き生きとした姿が見られる「行動展示」で話題の日本最北の動物園を目指しました。

「ペンギン館」の水中トンネルでは有名なキャッチフレーズそのままにペンギンが空を飛び、「あざらし館」では愛嬌あるアザラシが円筒形的水槽を行き来しています。どの展示も創意に満ちていて見せ場があるだけに、思わず童心に返って歓声を上げてしまった方もたくさんいらしたのではないのでしょうか。

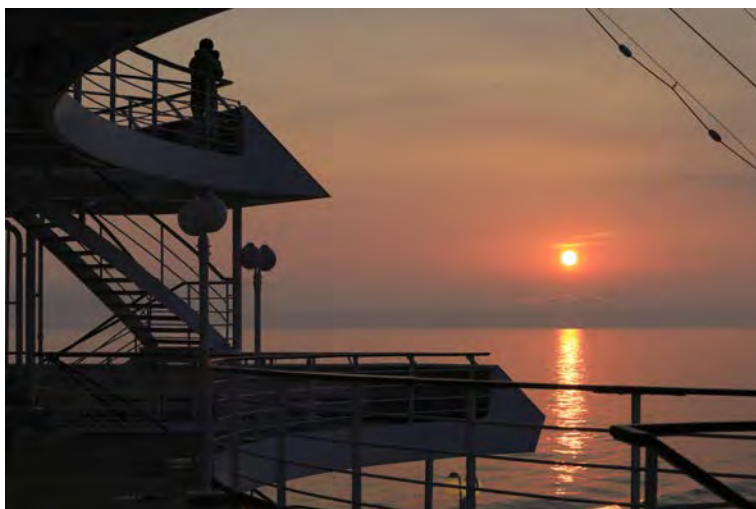
特典ツアーには昼食もついていて、近隣で穫れた野菜や地の魚を用いた上品で美味しい「北海道ガーデン街道ランチ」を市内のホテルで味わいました。留萌港から旭川までの往復の車窓も素晴らしく、見渡す限り水田が続く広い平野や石狩川、大雪山連峰などを望みながらの楽しい旅路となりました。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

奥尻島に沈む夕日と晩の楽しみ

Date : 2017/06/20 緯度 : N 43度 32分 経度 : E 140度 33分 天気 : 曇り 気温 : 16.5度 速度 : 14.4ノット
海域 : - 寄港地 : 留萌



今回の日本一周グランドクルーズは、その他のロングクルーズではあまりない「朝の出航」が多めなのも特徴かもしれません。今朝も快晴のなかでタグボートに引かれて岸壁を離れ、万国旗を掲げた漁船に見送られつつ留萌港を後にしました。日中は曇りがちでしたが、きらきら輝く出航シーンを見られて朝から皆さんご機嫌です。

というわけで、その後の飛鳥IIの船内は「ほぼ航海日」といった様相に。社交ダンス、フラ、ウクレレ、タガログ語、アクセサリー作り、ゴルフレッスンなど、教室開催のスケジュールは船内新聞『アスカデイリー』を埋め尽くすほど。夕方のCOCORO*COのゴスペルコンサート（写真左下）も圧巻のハーモニーでした。

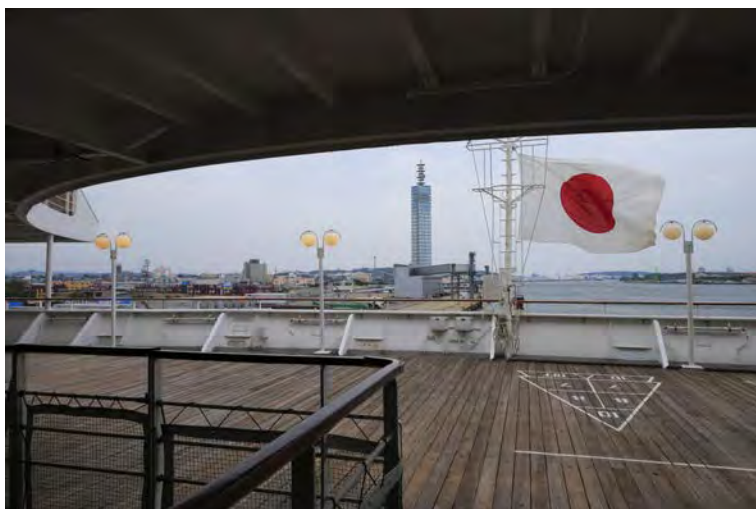
奥尻島に沈む抜群の夕日を見たあとは、夜9時半からのクラブ・スターズでのトークショー「県民あるあるナイト」（同右下）へ。3回目となる今回は増山キャプテンを筆頭に関東地方出身の乗組員が出演、故郷への愛情や家族のことなどをユーモアたっぷりに語ってくれて、満席の会場を沸かせていました。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

雨を思い出にする方法

Date : 2017/06/21 緯度 : N 39度 45分 経度 : E 140度 3分 天気 : 雨 気温 : 23.5度 速度 : 13.4ノット
海域 : - 寄港地 : 秋田



日本一周グランドクルーズが始まってすでに半月経ちますが、飛鳥IIはここまですっと穏やかな航海を続けています。今朝8時に秋田港に接岸してから徐々に風が強くなり天気が下り坂になったのが、本航で初めての悪天候かもしれません。ひと月以上にわたるクルーズですから、まあ、時にはそんな日もあるでしょう。

筆者は午後からの「入道崎と寒風山回転展望台」ツアーに参加。ご覧の天気ではあったものの、バスガイドさんのトークが秀逸で終始楽しませてくれました。寒風山への上り坂に差しかけると道路に小さな野うさぎが。いつまでもピョンピョンと進行方向へ跳ねてゆき、バスは見守るようにのろのろ運転。お客様はもちろん大歓声。

視界ゼロだった寒風山も登る頃には霧が晴れ、男鹿半島や八郎潟の残存湖を見渡せました。ガイドさんは帰途の車内で地元名物・納豆煎餅を配ってくれて、「ウサギと納豆煎餅とわたくしユウコのガイド。どう？ 雨でもえがった（よかった）っしょ」。その問いかけに皆さん思わず拍手喝采。雨でも楽しいバス旅行となりました。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

ロシアを目指す日本海の真ん中で

Date : 2017/06/22 緯度 : N 41度 56分 経度 : E 135度 58分 天気 : 晴れ 気温 : 13.5度 速度 : 16.9ノット
海域 : 日本海 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIは次なる寄港地ウラジオストクへ向けて穏やかな日本海を渡っています。日本一周の大きなオマケのひとつとでも言いましょうか、ユーラシア大陸の片隅に立ち寄って異国情緒も楽しもうという算段です。時差を修正するために、深夜2時に船内時計を1時間進めてウラジオストクの時間帯に合わせました。

入港を明日に控えた船内ではロシア関連行事が盛りだくさん。朝9時からロシア出身のプロダクションキャスト、ナイルとアザットによるロシアンダンス教室（写真左下）。つま先や踵で歩くなどのウォーミングアップをし、その後は左右に分かれて行進しながらダンス。列が中央で交わる度に思わず笑みがこぼれます。

ウラジオストクはかつてシベリア鉄道でヨーロッパを目指した日本人の憧れの街でした。立派な石造りの建築が連なる街は今も「日本からいちばん近い欧風の街」とも言われ、旅人に知られています。船内では街の歴史に触れる高山眞一先生の講演やロシア語講座が催され、ショップ「ル・ブルー」にはマトリョーシカも並びました。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

類いまれな旅情を醸すロシア極東の港湾都市

Date : 2017/06/23 緯度 : N 43度 7分 経度 : E 131度 53分 天気 : 晴れ 気温 : 23.5度 速度 : 11.8ノット
海域 : - 寄港地 : ウラジオストク



飛鳥IIは朝焼けの海峡を分け入って今朝7時にウラジオストクに到着しました。棧橋はウラジオストク駅（写真左下）に直結する絶好の場所。駅のホームの一角には古い蒸気機関車が展示され、シベリア鉄道終着点の碑も立っています。朝いちばんには、ツアーのお客様がこの駅から列車で小旅行に出掛けてゆきました。

駅近くの広場は青空市場になっていて、魚や野菜、焼き立てパンのお店などのパラソルが花開いています。立派な石造りの建物が連なる街をさらに歩くとC-56潜水艦博物館（同上）も。海軍基地として建設された都市だけに観光要素も個性的です。目映い日差しの中、遠足と思しき地元の子供たちが無邪気に歓声をあげていました。

それにしても今日は暑い一日でした。午後は半袖でないと耐えられないほど。おのこの街を楽しんだ後は地元ダンサーによるローカルショーを船内で鑑賞しました。朝方の入港セレモニー（同右下）もそうでしたが、ロシア女性のパフォーマンスと美貌も多くの方が絶賛。「お人形さんみたい！」という声は何度も聞こえてきました。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

落合ゲストシェフのイタリアン

Date : 2017/06/24 緯度 : N 41度 16分 経度 : E 137度 20分 天気 : 曇り 気温 : 16.5度 速度 : 17.7ノット
海域 : 日本海 寄港地 : 終日航海日



昨日ウラジオストクを後にした飛鳥IIは深夜2時に1時間後進の時刻改正をして、船内時刻を日本時間に戻しました。つまり昨晩は通常よりも夜が1時間長かったということであり、その分、どなたもゆっくりお休みになれたことと思います。午前中の船内には、そんなのんびりした雰囲気が漂っていました。

午後にはお客様参加のユニークな洋上運動会もありました。そして、きょうのメインイベントは何と言っても落合務ゲストシェフによるイタリアンディナーです。アボカドと魚介のサラダ（写真左下）やラ・ベットラ名物 ウニのスパゲッティ（同右下）、国産黒毛和牛のローストなど、繊細かつ深みのある味わいに思わずうっとり。

落合シェフは飛鳥IIのゲストシェフとしてもお馴染みだけに「前回の料理教室で習ったレシピ、うまく行きましたよ」などと声を掛けるお客様もいて、食後のダイニングルーム前はお覧の賑わい（写真上。左から4人目が落合シェフ、7人目は瀧総料理長）。船旅の魅力を凝縮したような素敵な場面が、筆者の目前にありました。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

シャトルバスから始まる小旅行

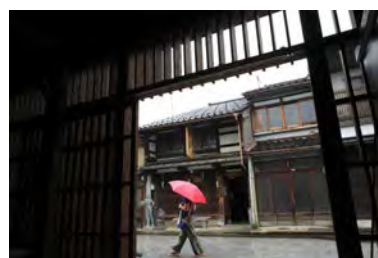
Date : 2017/06/25 緯度 : N 36度 48分 経度 : E 137度 4分 天気 : 雨 気温 : 21.5度 速度 : 15.4ノット
海域 : - 寄港地 : 伏木



今回の日本一周グランドクルーズは35日間で19もの港に立ち寄る、実に寄港地の多いクルーズです。各港ごとに魅力的なツアーがさまざま用意されていて、きょうの伏木港で言えば、黒部峡谷、白川郷など各所へのツアーが催行されました。が、ここでは敢えてツアー以外の楽しみ方をご紹介しますと思います。

街から離れた港でしばしば用意されるのが「シャトルバス」。きょうは伏木港と「新湊きつときと市場」を結んで走ります。そのバスで市場へ行くと、文字通りのきつときと、つまり新鮮な魚介を売っています。しかもわずかな追加料金でその場での調理もOK。皆さん思い思いに市場を楽しんでいたようです（写真上）。

そして筆者はさらにそこから歩いてすぐの、アジサイが彩る東新湊駅から路面電車の万葉線で高岡へ。乗り合わせた飛鳥IIのお客様とともにしばしの車窓観光を楽しみました。空模様こそあいにくでしたが、千本格子の家が連なる金屋町（同右下）や土蔵造りの町並みが続く山町筋を歩き、昔町高岡の旅情を堪能してきました。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

日本の原風景を訪ねて合掌造り集落へ

Date : 2017/06/26 緯度 : N 36度 37分 経度 : E 136度 37分 天気 : 晴れ 気温 : 25.0度 速度 : 11.9ノット
海域 : - 寄港地 : 金沢



大海原をゆくクルーズではありますが、寄港地での楽しみは決して海だけではありません。……という話を象徴するツアーのひとつが、きょうの寄港地・金沢から行く「白川郷と五箇山を訪ねて」でしょう。日本の原風景ともいえるこれら世界遺産の集落までは金沢港からバスで1時間程度。山あいでも、らくらく日帰り圏内です。

高速道路を経由して五箇山の相倉合掌造り集落を訪れ、続いて白川郷の荻町合掌造り集落へ（写真上）。ご覧の絶景を見渡す高台の食事処で飛騨名物・朴葉味噌などの和食ランチを楽しんだ後に集落に下り、田んぼの中に点在する114棟もの合掌造り家屋の間を歩きました。自由行動もおよそ1時間半と時間たっぷり。

本堂までが茅葺きという珍しいお寺・明善寺、合掌造りの長瀬家や神田家、国重要文化財の和田家（写真上、左手前の建物）などへと、皆さん思い思いに歩いていました。清冽な沢水が流れる用水路で鳴く蛙をお客様が見つけたり（同右下）、自然豊かで草木の匂いも心地よい里山を存分に楽しむことができました。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

小舟のガレージ「舟屋」を巡る観光船で

Date : 2017/06/27 緯度 : N 35度 33分 経度 : E 135度 12分 天気 : 曇り 気温 : 20.5度 速度 : 11.9ノット
海域 : - 寄港地 : 宮津



飛鳥IIは天橋立で有名な宮津に錨泊しています。きょうの筆者は午前中のツアー「舟屋の里・伊根と天橋立」にご一緒してみました。伊根地区は目の前の島が天然の防波堤となった穏やかな入り江で、それがために一階に漁に使う小舟のガレージを設けた珍しい「舟屋」が200軒以上も残るところです（写真左下）。

国の重要伝統的建造物群保存地区でもあり、ガイドさんによれば「漁村がこれに指定されているのは日本でもここ、伊根だけです」とのことでした。舟屋自体はあくまでも舟のガレージ+居室であって、どの家も、ほかに通りを挟んだ母屋と蔵を持っています。舟屋・母屋・蔵の3点セットで1軒の、贅沢なつくりの民家です。

本来きょうは舟屋の写真がメインカットを飾るはずですが、それより圧巻だったのは観光船についてくるカモメたち（同上。正確に言えばウミネコだそうです）。船上で買える「カモメのえさ」をあげると船の周囲はご覧の通り。なんだか舟屋よりもカモメのほうが気になって仕方ない、実に個性的なミニクルーズなのでした。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

隠岐の眺めとフォーマルディナー

Date : 2017/06/28 緯度 : N 35度 46分 経度 : E 133度 43分 天気 : 曇り 気温 : 21.0度 速度 : 9.4ノット
海域 : 日本海 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIは昨晚金沢港を出航しました。終日航海のきょう一日は、名づけるならば「遊覧クルーズ」といった感じでしょうか。明日の寄港地・浜田まで距離的に余裕があるので、沿岸に点在する名所を望みつつゆっくりと航行しています。朝8時頃には山陰本線の余部橋梁、昼には鳥取砂丘、そして午後には隠岐諸島（写真上）。

午後2時45分に隠岐諸島の島前の入り江に到着すると、増山キャプテンから「湾内で停止してしばらくドリフティングします」という放送が。午前中は曇りで遠望する風景も霞みがちだったものの、ここへ来てご覧の通りの晴れ模様。多くのお客様がカメラや双眼鏡を片手に屋外デッキに出ていらっしゃいました。

夜はしばらくぶりのフォーマルナイト。瀧淳一総料理長によるディナーはマグロとクレソンのマリネ、鬼手長海老とホワイトアスパラガスの取り合わせ、黒毛和牛のローストと夏野菜 コンソメと共に（同左下）、濃厚ガトーショコラ バニラアイス（同右下）など。筆者も大きな円卓でお客様とご一緒し、素敵なひとときを過ごしました。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

日本の歴史や伝統に触れて、世界を想う

Date : 2017/06/29 緯度 : N 34度 53分 経度 : E 132度 3分 天気 : 通り雨 気温 : 25.3度 速度 : 9.7ノット
 海域 : - 寄港地 : 浜田



飛鳥IIは鳥根県の浜田港に入港しています。浜田自体は「石見神楽」や揚げかまぼこのような真っ赤な魚肉製品「赤てん」で旅行ファンに知られていますが、一帯で世界的に有名なものと言え、やはり石見銀山です。きょうの筆者は健脚コース「世界遺産 石見銀山 龍源寺間歩（まぶ）を歩く」のツアーに同行しました。

ガイドさんの話によると「石見が栄えた16世紀は銀貿易の時代でした。多くの世界遺産が16世紀に生まれたのもこの時代の好景気のお陰で、石見の銀が世界に果たした役割はとても大きかったんです」。山あいの道を歩くこと2.3km、その先の龍源寺間歩（写真左下）は外の蒸し暑さが嘘のようにひんやりとしていました。

さて、船に戻って今夜のショーは「アンサンブルアジア」のコンサート（同右下）。今回のクルーズのためだけに結成された日中混成チームです。尺八や三味線、日本と中国それぞれの琴、琵琶、二胡など、独奏からアンサンブルへと続く演目はいずれも実に見事な音色。日本と海の向こうの国々との繋がりを強く感じた一日でした。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

特典ツアーで花咲くハウステンボスへ

Date : 2017/06/30 緯度 : N 33度 10分 経度 : E 129度 44分 天気 : 晴れ 気温 : 28.5度 速度 : 14.7ノット
海域 : - 寄港地 : 佐世保



飛鳥IIは両舷に陸地が迫る狭い水路で舵を左右に切りながら、朝8時に佐世保港に入港しました。佐世保は客船の寄港地としてもお馴染みですが港の眺めは賑やかで、多数の自衛艦や海上保安庁の巡視船が係留され、フェリーや漁船も行き交います。きょうは本航2度目の特典ツアーでハウステンボス（あじさい祭）に出掛けてみました。

港から30分ほどバスで揺られて現地へ着くと、写真の通り、さっそく花々が咲き誇るオランダの風景が。ここまで日本海沿岸で見てきた和の景色から一転して実に華やかです。石畳に煉瓦の建物、風車に運河……。天気も予報に反して午前中は見事な青空で、汗が滲む暑さ。ついに長袖が片づけられる南国に來たと実感しました。

園内では、特典ツアーの目玉である「あじさい祭」が催され、小径を埋めるあじさいも皆さま堪能されたことでしょう。その後、飛鳥IIに戻ったあとには台湾に向けての出国審査が船内でありました。出航は定刻通りの午後5時。入船（いりふね）で接岸していた飛鳥IIは180度回頭し、夕暮れの水路を通って湾の外へと出てゆきました。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

南へ向かう船の景色は青一色

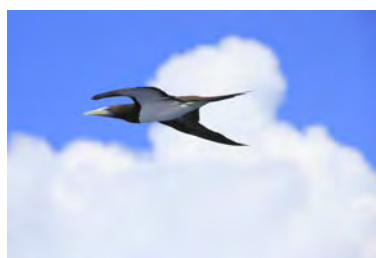
Date : 2017/07/01 緯度 : N 28度 7分 経度 : E 127度 19分 天気 : 晴れ 気温 : 30.5度 速度 : 11.7ノット
海域 : 日本海 寄港地 : 終日航海日



佐世保を出航した飛鳥IIは中2日の航海で台湾の澎湖（ポンフー）を目指しています。きょうはその終日航海日の1日目。船首付近に何羽ものカツオドリを従えて、午前中は奄美大島の西の沖合を走り続けました。曇り時々雨の予報に反して空は終始青空で、白雲がもくもくと湧く夏らしい海景を望んでいます。

各港間の距離が短かったこれまでと打って変わっての長距離だけに、速力は割合速く、概ね18ノット（約33km/h）ほど出ています。カツオドリは時折口を開けたり必死に羽ばたいたり、何とか飛鳥IIについて行こうとしているようにも見えて、ちょっと笑ってしまいました。台湾まで一緒に行くつもりなのでしょうか。

午後はシーホースプールで泳いだり日光浴をするお客様、パドルテニスの時間（写真左下）を楽しむ方、あるいは6デッキ船尾でゴルフレッスンを受ける方など、屋外デッキにも多くの方々がいらっしゃいました。何しろこの青空と青い海。満喫せねばですね。クルーズの醍醐味を存分に味わえる、きょう7月1日の船上でした。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

台湾の南の沖でデッキディナーを

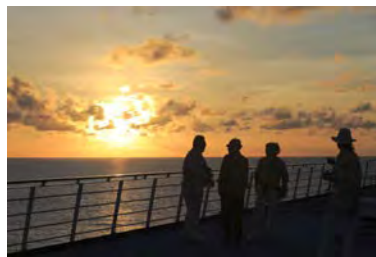
Date : 2017/07/02 緯度 : N 21度 53分 経度 : E 122度 25分 天気 : 晴れ 気温 : 31.0度 速度 : 18.9ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIはいまちょうど、台湾南部を時計回りに回り込むような航路を描きつつあります。きょうも荒俣宏先生の講演「台湾の英雄・鄭成功と日本」や万華鏡造り教室、小川クルーズディレクターが語る「タイタニックの真実（なぞ）」など、行事は盛りだくさん。海は相変わらず穏やかで、気持ちのいい航海が続いています。

昨日から7月に入り、レセプション前のアスカプラザには七夕飾りも登場しました。気分がすっかり夏になったこのタイミングで、夕方からは「アスカデッキディナー」。プールサイドで潮風を頬に感じながら食事を楽しむデッキディナーは皆さまお待ちかねのロングクルーズ恒例行事と言えるでしょう。

きょうは夕暮れ時でもなお強い日差しを感じるほど。左舷前方に沈むきれいな夕日に多くのお客様が食事の手を止めてシャッターを切っていました。プールサイドではクルーズスタッフやプロダクションキャストによる踊り、チーム対抗ゲームなどもあり、澎湖（ポンフー）到着を明日に控えて南国気分が最高潮に達しています。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

日差し降り注ぐ台湾の離島で

Date : 2017/07/03 緯度 : N 23度 33分 経度 : E 119度 33分 天気 : 晴れ 気温 : 32.0度 速度 : 13.3ノット
海域 : - 寄港地 : 澎湖



飛鳥IIは朝8時、小さな平たい島影がいくつも並ぶ澎湖（ポンフー）の入り江に錨を下ろしました。澎湖という地名は聞き慣れない方も多いかもしれません。台湾島の西およそ50km、台湾海峡上に大小90もの島々をもつ島嶼です。常夏で一年を通して雨は少なく、台湾本土からと思しき観光客でも賑わっているところです。

テNDERボートで上陸したあと、筆者は午前中は港のまわりを散策してみました。すぐ近くには澎湖天后宮や中央老街（写真上）などの見どころがあり、中華世界の南の島ならではの華美ながらも落ち着いた旅情を感じさせてくれます。強い日差しがじりじりと肌を焼くものの、誰もがのんびりとしていて思わず心が和みます。

午後は特典ツアー「澎湖3島半日観光」をお客様とご一緒に。樹齢300年のガジュマルが大きな木陰をつくる通梁保安宮では名物のサボテンアイス（写真左下）で涼を取り、橋で繋がる3つの島をバスで駆け抜け、最後は西嶼西台という要塞跡まで行きました。船は午後6時に抜錨。明日の高雄に向けて航行しています。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

南台湾・高雄の街歩きとクチコミ情報

Date : 2017/07/04 緯度 : N 22度 37分 経度 : E 120度 17分 天気 : 晴れ 気温 : 35.0度 速度 : 9.0ノット
海域 : - 寄港地 : 高雄



飛鳥IIは今朝8時、コンテナ船などの貨物船がひしめく快晴の高雄港に着岸しました。昨日の澎湖（ポンフー）といいきょうの高雄といい、とにかく日差しが強くて暑いです。お客様同士が交わす言葉もおのずと「きょうも暑いからお気をつけて」になっています。そんな高雄では、筆者は予定を決めずシャトルバスで街に出ました。

旅の嗅覚を頼りに歩くと、ほどなくすれ違ったのは飛鳥IIのお客様。「マンゴーかき氷が美味しかったよ。しかもすごいボリューム」と笑顔で教えてくれました。さっそく筆者もお店を見つけて一番人気の芒果牛奶冰（マンゴーミルクかき氷）を注文。とろけるような甘さとひんやり感。ホントに美味しい、文句なしの絶品でした。

そしてそのすぐ近くには生鮮市場。熟れたマンゴーもいっぱい。なるほどマンゴーかき氷の老舗がここにあるのはそういう理由かと納得です。きょうはそんな下町エリアを散策し、さらには波止場の倉庫群を再開発したお洒落な一画へも行きました。もちろん、お客様に会う度に美味しいマンゴーかき氷の情報を伝えつつ（笑）。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

洋上の「夏川りみ コンサート」

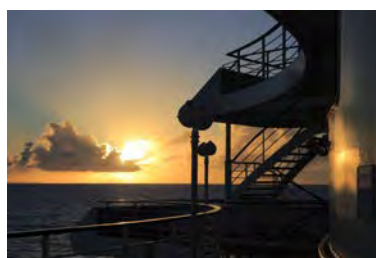
Date : 2017/07/05 緯度 : N 23度 15分 経度 : E 123度 58分 天気 : 晴れ 気温 : 30.0度 速度 : 18.0ノット
海域 : 東シナ海 寄港地 : 終日航海日



高雄を発った飛鳥IIは昨夜のうちに台湾南端を回り込み、先島諸島沖合を航行しています。朝8時50分の放送の時点で石垣島の南南西およそ200km。海外へのちょっとした寄り道を経て、再び日本を回る航路に就いています。午前中は、7月10日に船内で開催される予定の縁日に備えた盆踊りの練習（写真左下）もありました。

次の寄港地・沖縄に向けて気分が高まる中、きょう皆さんが最も楽しみにしているのは「夏川りみ コンサート ～歌さがしの旅 2017 Acoustic Version in 飛鳥II」に違いありません。日本で、世界で大ヒットした名曲『涙そうそう』などで誰もが知る、沖縄の音楽性をベースにしたあの美声を船上で聴くことができるのです。

選曲は、2番3番をうちな一方言で歌った『Amazing Grace』や『島唄』『涙そうそう』『島人ぬ宝』、そして5年ぶりのシングル『あしたの子守唄』など。沖縄民謡『安里屋ユンタ』では夏川さん自ら振り付けを教えてくださいました。歌の力は涙が出るほど圧倒的。本当に聴けてよかったと心から思える、素晴らしいコンサートでした。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

空と雲のコントラストが眩しい沖縄で

Date : 2017/07/06 緯度 : N 36度 14分 経度 : E 127度 40分 天気 : 晴れ 気温 : 31.5度 速度 : 14.9ノット
海域 : - 寄港地 : 那覇



飛鳥IIは今朝早くに沖縄の那覇クルーズターミナルに左舷づけで着岸しました。台湾からの帰りなので船内で入国審査と税関審査を済ませ、その後はお客様はめいめい、ツアーに参加されたりシャトルバスで街に出たり。とにかく空と雲がきれいな一日で、停泊中の飛鳥IIもご覧の通り。まるで絵はがきの中にいるようです。

そんな期待通りの沖縄をどなたも楽しめたことでしょう。シャトルバスで出掛けた筆者は国際通りから脇のアーケードへと進んで観光的な中心地の第一牧志公設市場へ（写真左下）。1階の生鮮食品売り場をひやかして、2階ではジェラートを食べてひと涼み。飛鳥IIのお客様と出会った時にはもちろん笑顔で情報交換です。

その後は暑さにめげず欲張って「ゆいレール」で首里城（同右下）方面へも足を延ばしてみました。高台に構える鮮やかな建物が、青空をバックにっそう映えます。那覇市街と海を見渡す「西（いり）のアザナ」に登ってから日本の道100選でもある金城町石畳道へと下り、昔ながらの沖縄の雰囲気浸ってきました。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

オーバーナイトの停泊で

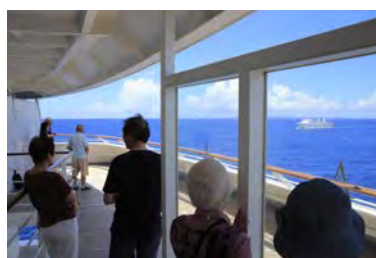
Date : 2017/07/07 緯度 : N 26度 14分 経度 : E 127度 38分 天気 : 晴れ 気温 : 31.5度 速度 : 5.0ノット
海域 : 東シナ海 寄港地 : 終日航海日



今回の那覇港は夜を越えての停泊です。ロングクルーズのさなかに時折現れるこの「オーバーナイト」は、長旅を少しだけリセットするいい区切りだと実感します。特に那覇のような観光地では、郷土料理店で美味しいお酒を楽しんだり、中には陸地のリゾートに滞在中のお子さんお孫さんとご一緒される方もいらっしゃるようです。

船旅好きで写真好きの筆者の例を引けば、南国の夕闇に浮かぶ飛鳥IIを港を見渡す橋のてっぺんで心ゆくまで撮ることだってできます。皆さんがお乗りの飛鳥IIはこんなに美しい船なんですね。上の写真は正確には昨夕ですが、つまりは時間を気にせずよりゆったりと、思いのままに過ごせるのがオーバーナイトの魅力です。

というわけで今日はお昼前の11時半に那覇港を出航。明日の奄美大島を目指しています。船内ではウクレレ教室やフォークダンス教室、フラワーチャーム作り教室などが催されたほか、夕にはクルーズスタッフ総出かつお客様参加型の「南国 ミュージックタイム with NAMANA」(写真左下)もあり、賑やかな一日となりました。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

奄美大島のマングローブでカヌー体験

Date : 2017/07/08 緯度 : N 28度 24分 経度 : E 129度 30分 天気 : 晴れ 気温 : 31.0度 速度 : 11.7ノット
海域 : - 寄港地 : 名瀬



飛鳥IIは今朝7時ごろに奄美大島・名瀬港港外でぐるりと一度円を描いて、8時を少し過ぎたところで着岸しました。この「2017年 日本一周グランドクルーズ」神戸下船の方には最後の寄港地となる奄美大島では、筆者は島の自然を体感すべく「マングローブカヌー体験」ツアーに参加してみました。

日本で2番目に大きなマングローブの原生林を高台から見渡して、リュウキュウアユなどここに生息する貴重な生き物たちを簡単なビデオで学んだあとは、さっそくカヌーに挑戦です。筆者を含めほとんどのお客様がカヌー初体験とあって最初はおっかなびっくり。けれども思った以上に安定性があり、次第にコツが掴めてきます。

森を縫って川を下り、干潟に上陸。大半を占める植物だというオヒルギとメヒルギを見たり、ヒメシオマネキというカニが足許にたくさんいるのに驚いたり。湿気と日差しとパドルを漕ぐので汗だくながら、お顔はどなたも実に晴れやか。岸に上がって休憩所でアイスクリームを食べながら「本当に楽しかったねえ」と談笑しました。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

本航最後のフォーマルナイト

Date : 2017/07/09 緯度 : N 30度 42分 経度 : E 130度 34分 天気 : 曇り 気温 : 29.0度 速度 : 9.9ノット
海域 : 東シナ海 寄港地 : 終日航海日



昨夕に名瀬を発った飛鳥IIは今朝8時半には屋久島の沖およそ4kmのところまでやってきました。左舷の間近に望む深い森に覆われた島影にはいくつかの白い筋が縦に入っていて、目を凝らすと滝が流れているのだと気づきます。右手には宇宙センターでお馴染みの種子島があり、その間の海峡を船はゆっくりと進んでゆきます。

日中の船内ではウクレレ教室最終回、マクラメで作るストラップ教室（同右下）、アルゼンチンタンゴ教室などが催されていました。また、夜にはキャプテン主催のフェアウェルパーティーをギャラクシーラウンジで（同上）。本航最後のフォーマルナイトだけに会場のお客様も皆さんいっそう素敵な装いで

「とにかくお天気に恵まれたクルーズでした」と増山キャプテンが仰るように、ひと月以上に渡った日本一周はほぼ毎日が波高1～2m程度だったという、終始穏やかな海をゆく旅でした。壇上では優秀クルーの表彰やハウスキーピングの女性たちによる合唱なども行われ、ひととき華やかな夜が更けてゆきました。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

総仕上げの終日航海日

Date : 2017/07/10 緯度 : N 32度 29分 経度 : E 132度 44分 天気 : 晴れ 気温 : 28.5度 速度 : 9.4ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



明日の神戸入港を控えたきょうは、このクルーズ最後の終日航海日です。一日の時間を船内でゆったりと使える最後の日とあって、総仕上げのイベントが目白押し。午前中は2か所の会場に分かれてビンゴ大会を盛大に開催。午後には5デッキ・レセプション前のアスカプラザで縁日と盆踊りが賑やかに行われました。

また、アルゼンチンタンゴダンサーのギジェルモ先生とロクサーナ先生のふたりが講師を務めたタンゴ教室も最終回で発表会&ミロンガパーティー。バンドネオン奏者・平田耕治さんらの生演奏のもとで、お客様同士ペアを変えながらたくさん踊っていました。それにしても、合間に挟まれた先生の模範演技の美しいこと！（写真右下）

ディナーは芝大門にある和食「くろぎ」の黒木純シェフをゲストシェフに招いての和食。そして本航ゲストエンターテイナーの大トリは、東京藝術大学OGで結成された若手女性邦楽ユニット「綾音」の皆さんによる長唄（同上）。唄や鼓や三味線の音色にのせた和の魅力を存分に味わって、総仕上げにふさわしい素敵な夜を過ごしました。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

35日間日本一周、ついに出発地の神戸へ

Date : 2017/07/11 緯度 : N 34度 41分 経度 : E 135度 11分 天気 : 晴れ 気温 : 31.0度 速度 : 10.0ノット
海域 : - 寄港地 : 神戸



朝6時には淡路島を左舷に見ながら友ヶ島水道の狭い航路に差しかかり、最初の出発港・神戸がいよいよ近づいてきました。35日間に渡る「2017年 日本一周グランドクルーズ」は、今朝9時の接岸でついに日本一周達成です。客室テレビが映し出す航路図の青い航跡が、ついに日本をぐるりと囲んで繋がりました。

日中は晴れたのに入港時だけ薄曇りだったのも、暑さ厳しい港が続いた身としては却ってありがたいものでなしに思えます。神戸市消防音楽隊の演奏が響くなか、出迎えのご家族でしょうか、「おかえり〜!」という大きな声が桟橋から聞こえます。7デッキ屋外にはそれを見つけて大喜びで手を振るお客様の姿がありました。

船内もまた、お見送りで賑やかでした。ここ数日は「あなたは次はいつ乗るの?」がお客様同士の挨拶代わりでしたが、きょうは「じゃあ次のオセアニアで」とか「次の世界一周で」といった言葉に変わっていました。神戸下船のお客様、ご自宅までもお気をつけて。ぜひまた飛鳥IIの船上でお会いしましょう。



Cruise : 2017年日本一周グランドクルーズ (36)

日本一周グランドクルーズ、完結

Date : 2017/07/12 緯度 : N 35度 8分 経度 : E 139度 46分 天気 : 曇り 気温 : 27.0度 速度 : 17.3ノット
海域 : - 寄港地 : 横浜



飛鳥IIは昨日午後4時に神戸港を出航し、夜の太平洋を航行してきました。今朝9時ごろには伊豆大島を左舷前方に望むようになり、最終目的地の横浜が近づいています。神戸で約半数のお客様が下船されたため船内は少し静かで、いよいよこの「2017年 日本一周グランドクルーズ」も終盤という感慨を持ちました。

10時からは本航最後の船内イベント「サンクスアワー」をクラブ2100で開催（写真左下）。曲当てクイズやダンス、クルーズスタッフからの感謝の挨拶があり、お客様の間にはたくさんの笑いと、そして達成感と名残惜しさからくる少しの涙も……。飛鳥IIのアットホームな雰囲気が改めて感じられる素敵なひとときでした。

ベイブリッジをくぐる頃には曇り空が青空に。旅の仕上げにふさわしい入港風景となりました。港内で180度転回した飛鳥IIが大さん橋を右舷後方に見ながらバックすると、出迎えの皆さんからの「おかえり〜！」の声。力いっぱい手を振って応えます。飛鳥IIは母港横浜に無事接岸し、ついに36日間のクルーズが完結しました。

